

2018年11月16日

滋賀県知事 三日月大造 様

日本共産党滋賀県委員会 国民運動部長 佐藤 耕平
日本共産党滋賀県議会議員団 節木三千代
杉本 敏隆
藤井三恵子
大津湖西地区県政対策委員長 黄野瀬明子

陸上自衛隊の演習場による通行車の被弾事件についての申し入れ

11月14日午後1時20分頃、陸上自衛隊饗庭野演習場で、訓練中の陸上自衛隊部隊が発射した迫撃砲弾が場外に着弾し、破片で民間車両が損傷するという重大な事件が発生した。同車には、同市の男性が乗っており、一步間違えば人命にかかわる重大な問題であり、断固抗議するものである。

2015年7月にも饗庭野演習場では実弾射撃中に12.7ミリ重機関銃が近くの民家を直撃し、2階の瓦屋根と天井を貫通し、破損するという事故を起こしており、饗庭野演習場における実弾訓練の危険性を示した。

2015年8月27日に高島市と今津駐屯地では、「周辺住民の安全を確保するために・・・安全管理に万全の措置を講じる」とし「覚書」を結んでいる。覚書では「速やかに通報する」としながら、今津駐屯地から、高島市に連絡があったのは、午後4時50分で、事件が発生してから3時間余りが経過している。

また新聞報道によれば、迫撃砲の訓練では、照準を調整するために最初に6発を試射し、民間車両を破損させたのは3発目としている。煙の位置や飛翔音から着弾域が目標の北側にそれているのが分かっているながら、訓練を続行されたことは、住民の命をないがしろにするものであり、地域住民からは強い怒りの声が上がっている。

よって、以下の点で、県民の命と安全を守るため、政府・防衛省に対して以下の点を強く求められるよう求めるものである。

- 1 県民の命を脅かす重大な事件であり、つよく抗議されたい
- 2 事件の全容を市民に明らかにすることを求められたい。
- 3 高島市の資料では14日午後2時45分に演習中止要請をされているが、何時に中止されたのか。「覚書」は履行されたのか明らかにするよう求められたい。
- 4 迫撃砲弾だけでなく、すべての実弾演習の中止を求められたい。
- 5 なぜ通報が遅れ、事件後も発射訓練を続けたのか、明確な回答を求められたい。
- 6 迫撃砲をつかって何を目的とする訓練をしていたのか。またその目的は在日米軍との連携を想定したものか、明らかにするよう求められたい。
- 7 饗庭野演習場で来年1月から3月に実施されようとしている日米合同演習の中止を求められたい。
MV22オスプレイの飛来に反対されたい。

以上